2010.09.07　冨松

**リンクエラーチェッカ 「HTML404」**

**＜動作概要＞**

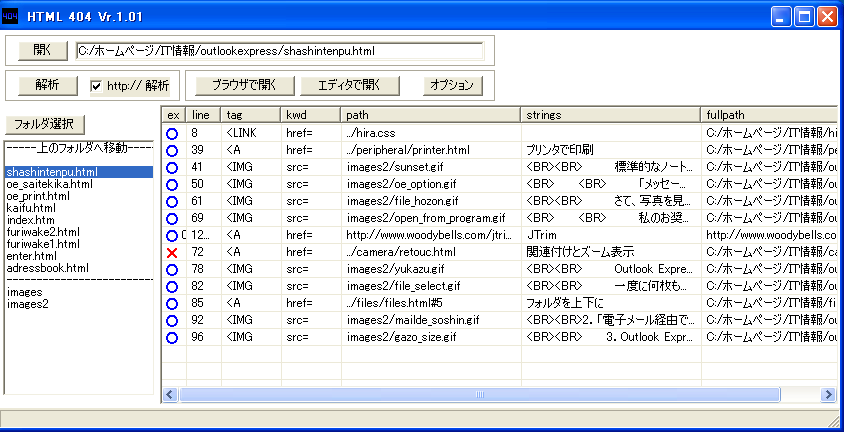
解析したいファイルを指定して実行すると、ソース内から下記の属性を探し出し、パスを取得します。リンク先のファイルが存在するか確認し、結果をリストに反映します。ただし、**思いと違うところにリンク**が貼られていても、そこにファイルが存在すればリンクエラーにならないことに注意が必要です。

・href=

・src=

・url(

下図は解析結果の一例です。リンクエラーのある文字列「**strings**」が表示されるので、エラー箇所の発見が容易です。ホームページビルダーでは、この「**strings**」が表示できません。



**＜解析ファイルの指定＞**

解析の実行する前に、上図の「開く」ボタン右の「ファイルボックス」に解析したいファイルを指定します。「開く」ボタンから指定するか、左欄の「ファイル一覧ウィンドウ」から指定します。大文字と小文字は区別します。

「ファイル一覧ウィンドウ」を作成するには、「フォルダ選択」ボタンから、目的のファイルがあるフォルダを指定します。点線の上部にファイルの一覧、下部にサブフォルダの一覧が表示されます。ダブルクリック時の動作は以下のとおりです。

・ファイル名 → 選択したファイルが「ファイルボックス」に入力されます。

・フォルダ名 → 選択したフォルダへ移動します。

・上のフォルダへ移動 → 一つ上のフォルダに移動します。

**＜解析の実行＞**

上図「開く」ボタン右の「ファイルボックス」に解析したいファイルを指定し、「解析」ボタンを押すだけです。「http://」のように、URLで指定されている場合はネットに接続し、ファイルの存在を確認します。ネットに接続する場合は「http:// 解析」にチェックを入れ、「オプション」～「プロキシを使う」にチェックする必要があります。

**＜リストウィンドウの意味＞**

解析を実行するとリストに結果が反映されます。

・ex

ファイルが存在する場合は○、存在しない場合は×、よく分からないときは？が表示されます。

・line

行数です。

・tag

指定属性が有ったと思われる部分のタグです。

・kwd

指定した属性です。

・path

属性値として指定されているパスです。

・strings

ヒットしたタグの文字列です。ネット上のファイルの場合エラー内容が表示されることもあります。

・fullpath

フルパスです。

**＜HTML404のダウンロードとインストール＞**

HTML404はフリーソフトで、下記URLからダウンロードできます。

[http://www.vector.co.jp/soft/w](http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se293085.html)[in95/n](http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se293085.html)[et/](http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se293085.html)[se293085.html](http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se293085.html)

zip形式「html404\_101.zip」で圧縮されていますので、解凍して使います。zip形式の圧縮ファイルの解凍は、解凍ソフトを使うか、Windows（XP以降はzipファイルの圧縮解凍機能を持っています）の機能を使います。必要なら下記URLを参照してください。

http://www.shoai.ne.jp/hirakata/it/archiver/archiver.html

以上